

コンパクトなまちづくりを考えるシンポジウム

次世代にも暮らしやすい まちづくりとは？

地方都市では、人口減少・少子高齢化の進行などにより、空き家の増加やかつてのコミュニティが希薄化するなど、まちづくりにおける様々な問題が顕在化してきています。このため公共交通と連携したコンパクトな都市構造への転換とともに、豊かな景観の居住環境が求められています。人口減少社会に対応した土地利用のあり方とともに、魅力あるまちづくりを実現するため、「コンパクトなまちづくり」の実現方策を考えます。

基調講演

講演者 明治大学 教授 野澤 千絵

テーマ 次世代にも暮らしやすいまちづくりとは？

内容 前橋市に住む子供たちが大人になったとき、どんな街であれば、引き続き住みたいと思うのでしょうか？いよいよ人口減少が本格化した中では、様々な分野を総動員しながら、現世代にも、そして次世代にとっても継続して暮らしやすいまちづくりが求められています。本講演では、こうしたまちづくりの重要な土台となる「土地利用のあり方」やそのための都市政策を紹介します。



のざわ ちえ
野澤 千絵 明治大学政治経済学部 教授

専門は都市政策・住宅政策。博士（工学）。大阪大学大学院修了後、民間企業を経て、東京大学大学院修了。東洋大学理工学部建築学科教授等を経て、2020年度より現職。2024年現在、日本都市計画学会理事、都市計画協会理事、国土交通省都市計画基本問題小委員会委員、国交省立地適正化計画の実効性の向上に向けたあり方検討会委員、大田区空家等対策協議会会長。群馬県については、以前、地域公共交通計画策定アドバイザーや都市計画区域マスタープランにおける土地利用方針検討会などの委員に從事。主な著書は『老いる家 崩れる街 - 住宅過剰社会の末路』『老いた家 衰えぬ街 - 住まいを終活する』（いずれも講談社現代新書）など。

PROGRAM

18:00	開 会	
18:00~18:05	挨拶	前橋市長 小川 あきら
18:05~18:45	基調講演	次世代にも暮らしやすいまちづくりとは？ 明治大学 教授 野澤 千絵
18:50~19:05	話題提供 1	地方都市における居住変化と人口動向 長岡技術科学大学 准教授 松川 寿也
19:05~19:20	話題提供 2	前橋まちなかの土地活用ニーズ 株式会社まちの開発舎 代表取締役 橋本 薫
19:25~19:55	基調講演者と話題提供者、前橋市長を交えたトーク・セッション	コーディネイター 野澤 千絵(明治大学 教授・基調講演者) パネラー 松川 寿也(長岡技術科学大学 准教授) 橋本 薫(株式会社まちの開発舎 代表取締役) 原 華恋(群馬工業高等専門学校・学生) 小川あきら(前橋市長)
20:00	閉 会	

話題提供 1

地方都市における居住変化と人口動向



まつかわ としや
松川 寿也
長岡技術科学大学 准教授

専門は土地利用計画。博士（工学）。新潟県生まれ。現職のほか新潟県都市計画審議会委員、新潟県にぎわいのあるまちづくり審議会委員、信濃川水系流域委員会中流部委員など。著書に『自治体における水害多発時代の流域治水(第一法規)』、『都市縮小時代の土地利用計画(学芸出版社)』など。

話題提供 2

前橋まちなかの土地活用ニーズ



はしもと かおる
橋本 薫
株式会社まちの開発舎 代表取締役

前橋工科大学・共愛学園前橋国際大学非常勤講師。まえばしガレリアの事業主として不動産開発と管理運営を行う。コミュニティデザイン活動を通しまちづくりと市民を繋ぐ組織を運営。2019関東商工会議所連合会ベストアクション賞、2022ふるさと名品オブサイヤー地域創生賞など。



おがわ
小川 あきら 前橋市長

人口減少・少子高齢化が進行するなか、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な生活環境を形成していくことが重要です。将来にわたって持続可能なまちづくりを実現するため、前橋の土地利用はどうあるべきか。一緒に考えましょう！

定員

150名

※事前受付あり

2024

10.10

木 THU

18:00~20:00

[17:40開場]

場 所

中央公民館(前橋プラザ元気21)
3Fホール

お申し込みはこちら↓



※定員になり次第、締め切らせていただきます。

〈問い合わせ先〉前橋市役所 都市計画部 都市計画課

TEL 027-898-6943 e-mail toshikeikaku@city.maebashi.gunma.jp

〈主催〉前橋市 〈共催〉群馬県都市計画協会 〈後援〉前橋観光コンベンション協会